

事務事業名		農村公園管理事業		☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	公園・緑地の整備				01	06	01	02	18
根拠法令										
所属	部課名	農林水産部 農林課		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成10 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	課長名	尾坪 明								
	係 名	農政係	電話		0192-27-3111					
	担当者	山下 浩幸	内線		7122					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
・綾里農村公園と吉浜農村公園を維持管理する事業。 ・綾里農村公園は、地域の団体に草刈等の維持管理を委託しており、遊具の保守点検については業者委託している。 ・吉浜農村公園は、地域で自主的に維持管理されている。						総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	
									都道府県支出金	
									地方債	
									その他	
									一般財源	
									事業費計 (A)	0
人件費	正規職員従事人数									
	延べ業務時間									
	人件費計 (B)	0								
	トータルコスト(A)+(B)	0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標											
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・公園の管理委託 ・吉浜農村公園内の巨岩撤去委託業務 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・公園の管理委託 ・遊具の保守点検、修繕				⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
				名称					単位		
				ア	遊具の安全点検回数				回		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・農村公園施設				イ	草刈りの実施回数				回		
				ウ							
				⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)							
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 利用者が安全かつ快適に利用できるようにする。				名称					単位		
				カ	農村公園の数				箇所		
				キ							
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・公園・緑地が確保されている				ク							
				⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)							
				名称					単位		
				サ	農村公園施設の修繕件数				件		
				シ							
				ス							
(2) 総事業費・指標等の推移											
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
			都道府県支出金	千 円							
			地方債	千 円							
			その他	千 円							
			一般財源	千 円	50	123	558	158	158	158	
	人件費	事業費計 (A)	千 円	50	123	558	158	158	158		
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時 間	20	20	80	20	20	20		
		人件費計 (B)	千 円	80	80	320	80	80	80		
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	130	203	878	238	238	238		
		⑤活動指標	ア	回	-	1	1	1	1	1	
			イ	回	2	2	2	2	2	2	
			ウ								
⑥対象指標	カ	箇所	2	2	2	2	2	2			
	キ										
	ク										
⑦成果指標	サ	件	0	0	1	1	1	1			
	シ										
	ス										

事務事業ID	1226	事務事業名	農村公園管理事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

子供の遊び場や地域レクリエーション・コミュニティ活動等の場として、平成9年度に農村公園を開設し、平成10年度から管理事業が開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

- ・緑とオープンスペースを確保する公園は、環境や防災上の観点からも重要性が増してきている。
- ・近年、公園の遊具での事故が全国的に発生しており、公園遊具の安全性の確保が求められている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・綾里農村公園の草刈り等の管理委託先からは、草刈回数の増加に伴う委託料の増額を要望されている。
- ・吉浜農村公園の草刈り等がされてないように見受けられるため、整備するよう求められている。
- ・吉浜農村公園内の柵が損壊しているため、修繕するよう求められている。

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ ・適正な維持管理を行うことにより、公園・緑地の整備環境が維持される。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ ・農村公園は、市が所有する公共施設であり、その維持管理については市の責任において行う必要がある。 ・住民福祉の向上につながるもので関与は妥当。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ ・公園施設の維持管理管理をとし、地域の生活空間向上に資するものであり、対象、意図は妥当。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ ・これまで公園施設での事故は発生していないが、遊具等の修繕を計画的に実施することで快適に利用できるようになる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ ・廃止や休止は、農村公園施設の荒廃をまねき、公園の快適利用を阻害し、事故の要因にも成りうる。よって、廃止及び休止することはできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) ・都市計画課において都市公園の維持管理が行われている。 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ・設置目的により管理担当課が分かれている。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・公園施設維持管理にかかる適正額の委託料のみであり、削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・委託に係る事務及び現地の見回りに係る人件費のみであり、削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ ・農村公園は、地域住民を主とする不特定多数の人が利用しており、受益者負担に馴染まない。

事務事業ID	1226	事務事業名	農村公園管理事業
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	綾里農村公園の遊具について、経年劣化による不具合が指摘されることが多くなっている。 また、吉浜農村公園についても、柵修繕の要望や巨岩撤去の要望が出されるので、巨岩については保護策を講じた。																					
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・綾里農村公園では、遊具の定期点検を実施し、不具合事項を修繕していく。 ・綾里農村公園だけでなく、吉浜農村公園についても、地域の自治会等に草刈等の維持管理を委託することを検討する。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
・国土交通省が定めた「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」及び社団法人日本公園施設業協会が定めた「遊具の安全に関する規準」に準じると、既存の遊具施設では対応できない箇所があり、修繕費が多額となるので、計画的な更新が必要である。 ・遊具の経年劣化が年々増していることから、遊具の利用実績も聞き取りなので調査し、今後の必要性を検討する。																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	農林課長 尾坪 明

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☒ 一部記述不足のところがある
☐ 記述は十分なされている
- ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☒ 一部に客観性を欠いたところがある
☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

適切な事務執行がなされている。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持
- 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

- ・遊具等については、利用状況をみながら撤去することも検討していく。
・地区公民館等に草刈等の管理を委託しているが、外部への委託も検討していく。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項